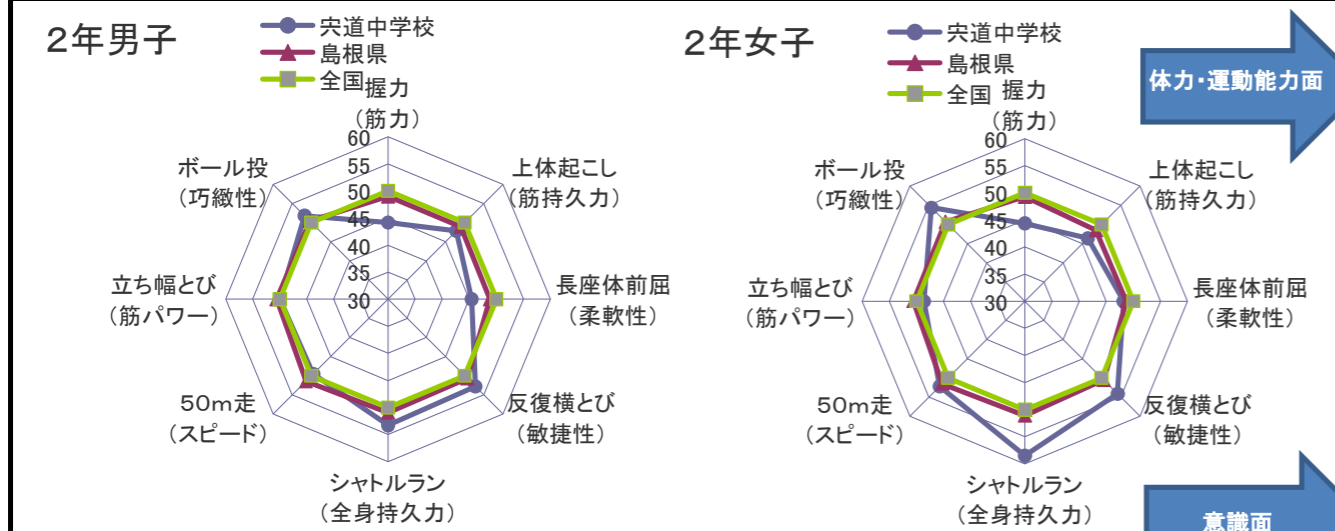
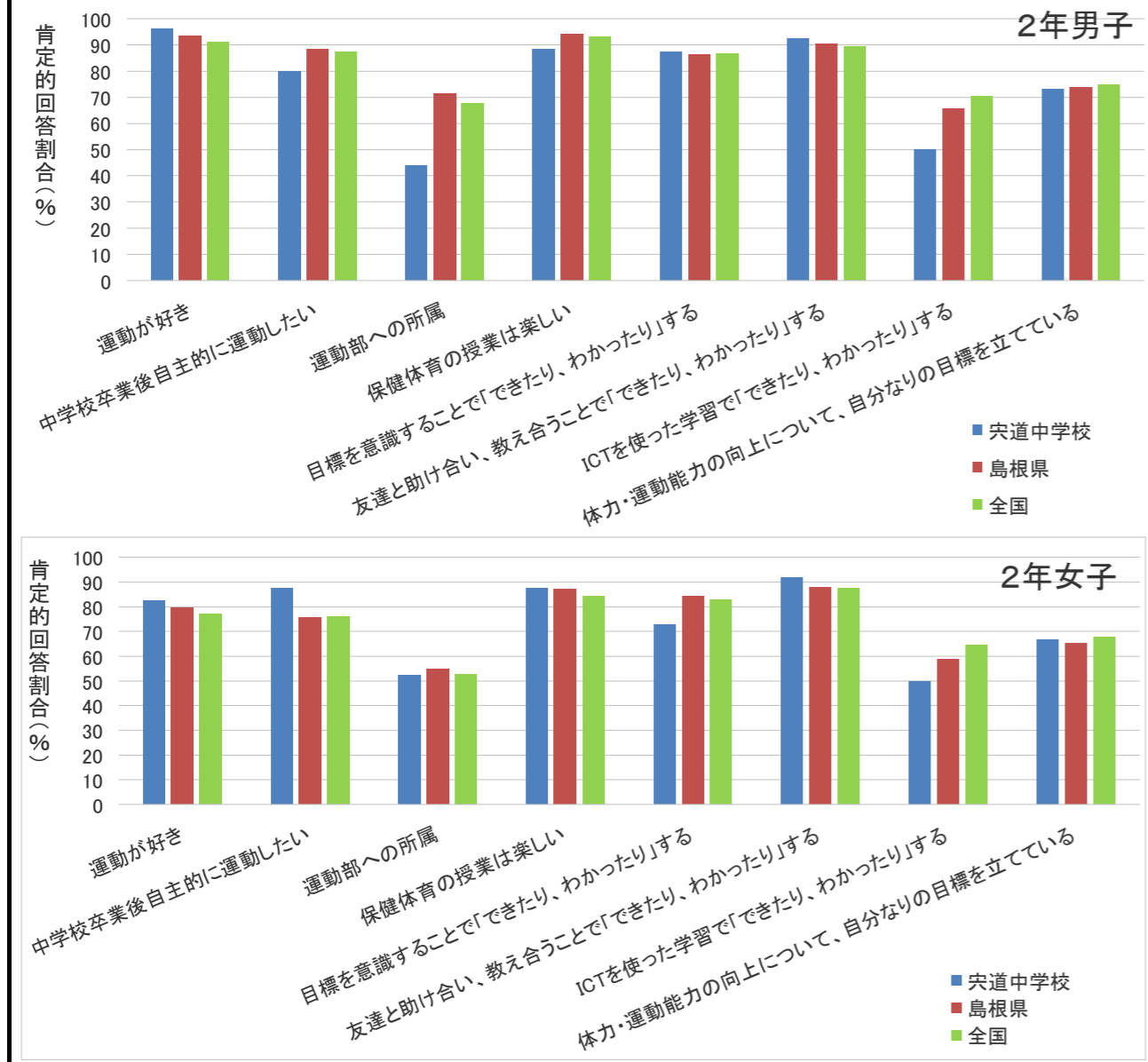


(1) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シヤトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-5.8	-2.2	-4.6	2.8	3.3	-0.5	0.0	1.8
女子	-5.7	-3.6	-1.8	4.2	8.5	2.2	-1.4	4.4

Legend: [-5p以上] 弱み, [-5~-2p], [-2~0p], [0~2p], [2~5p], [5p以上] 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	中学校卒業後自主的に運動したい	運動部への所属	保健体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い、教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	5.0	-7.3	-23.6	-4.7	1.0	2.9	-20.5	-1.9
女子	5.4	11.5	-0.5	3.3	-10.1	4.0	-14.7	-1.1

Legend: [-7%以上] 弱み, [-7~-3%], [-3~0%], [0~3%], [3~7%], [7%以上] 強み

(3) 令和8年度の方針【学校全体での取組】

<令和7年度の成果>
 ○本校の体力向上推進計画の目標
 ①握力、上体起こしで全学年男女とも、県平均を上回る。
 ②朝食の有無は、「食べない」「時々食べない」生徒を15%以下にする。
 ③睡眠時間について、6時間未満の生徒を15%以下にする。
 ④生徒会活動として、体力向上を意識してもらう。
 ⑤部活動ごとに、体力向上を意識してもらう。
 ⑥生徒、家庭、地域を対象に、保健体育に関する内容に興味・関心をもってもらおう。
 ○以下の結果より、本年度設定した目標④⑤について、手立てが一定程度効果があったと考えられる。
 ・「運動が好き」男子96.2、女子82.6%、「中学校卒業後自主的に運動したい」女子87.5%が肯定的に回答している。
 ・「友達と助け合い、教え合うことで「できたり、わかったり」する」男子92.3%、女子91.7%が肯定的に回答している。

<令和7年度の課題>
 ●以下の結果より、男女とも筋力・筋持久力、柔軟性に課題がある。そのため、保健体育の授業の中に筋力トレーニング、柔軟性トレーニング要素を入れることが望ましいと考えられる。
 ・男子は、握力、上体起こし、長座体前屈、50m走で全国平均を下回った。女子は、握力、上体起こし、長座体前屈、立ち幅とびで全国平均を下回った。
 ●以下の結果より、男女ともICTを活用した授業の効果が十分に感じられていないと考える。
 ・「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」男女とも50%と全国平均を大きく下回った。

<令和8年度の方針>
 ・保健体育の授業に筋力・筋持久力トレーニング、柔軟性メニューの要素を導入する。
 ・ICTを活用した授業を積極的に取り入れるとともに、生徒たちが効果的に活用できるよう指導する。